

令和7年度 第2回 治験審査委員会

1. 日時：令和7年7月28日(月) 午後4時30分～午後4時50分

2. 場所：事務局内会議室4

3. 出席者 12名

委員長	医師	副医局長兼臨床研究部長	木村 智樹
副委員長	薬剤師	薬剤部長兼臨床研究部次長	山田 哲也
委員	医師	副医局長兼脳神経内科主任部長	湯浅 浩之
	医師	循環器内科部長兼臨床研究部次長	神原 貴博
	医師	整形外科部長	遠藤 浩二郎
	技師	臨床検査部技師長	石原 誉志美
	看護師	看護管理部長	大矢 なぎさ
	看護師	看護外来看護師主任	野田 里美
	事務	事務局長	熊谷 由美
	事務	臨床研究部治験管理室	加藤 淳人
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティこども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 4名

医師	副院長	大河内 治
医師	健康管理部主任部長	松浦 哲生
医師	腎臓内科主任部長	稲葉 慎一郎
事務	財政課長兼財務係長兼管財経理係長	加藤 幹也

審議については、病院治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4ならびに医師主導治験における治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) アストラゼネカ社の依頼による慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたベンラリズマブの第Ⅲ相試験

（アストラゼネカ）

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

- 2) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象としたTQJ230の第Ⅲ相試験

（ノバルティスファーマ）

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒（2025.7.10）治験実施計画書、治験実施計画書付録、説明文書および同意文書、治験薬概要書、費用に関する資料について審議した。

審議結果：承認

- 3) アムジェン株式会社の依頼による心血管疾患を対象としたOlpasiran（AMG890）の第Ⅲ相試験

（アムジェン）

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒（2025.5.29）治験薬概要書（2025.6.23）治験実施計画書、説明文書、同意文書について審議した。

審議結果：承認

- 4) 急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA 発症後の患者を対象に経口 FXIa 阻害薬 asundexian (BAY2433334) の有効性及び安全性を検討する第 III 相試験

(バイエル)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

- 5) 206713 試験又は 213744 試験の登録被験者を対象とした GSK3511294 の非盲検継続投与試験 (IQVIA サービシーズジャパン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 6) 特発性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 7) 進行性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果：承認

- 8) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者及び進行性肺線維症患者を対象とした BI 1015550 の長期継続第 III 相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2025.7.18) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、その他(2025.7.23) 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書について審議した。

審議結果：承認

- 9) 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患の患者を対象として治験薬の安全性及び有効性を評価するプラットフォーム試験

(メドペイス・ジャパン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2025.7.9) その他について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 10) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に BI 1819479 が肺機能を改善するかどうかを検討する試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。
審議結果：承認

- 11) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象に BI 1839100 が咳嗽を改善させるかどうかを検討する試験
(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。
審議結果：承認

- 12) MD-712 第Ⅱ/Ⅲ相試験

(持田製薬)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2025.6.13) 治験実施計画書 別紙 4 併用禁止薬および併用許容治療の一覧について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

(終了報告)

- 1) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象とした BI 1015550 の第Ⅲ相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

【次回開催日】

令和7年9月29日(月) 16時30分より